

## 平成26年第2回（2月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

私が教育長に就任してから1年が経過しました。議員や市民の皆様方のご指導ご鞭撻のおかげで、なんとかこれまで重責を担わせていただくことができました。

まちづくりは人づくり、人づくりは教育の力をもってしかなし得ない。文化やスポーツ振興も含めた教育の充実こそ瀬戸内市の明るい未来であると信じ、今後も誠心誠意、職責を果たしてまいります。

今後とも議員各位や市民の皆様方におかれましては、教育委員会に対してご支援とご協力をお願いいたします。

以上を申し上げ、教育委員会の行政報告に入らせていただきます。

#### ○ 体験型学習推進事業について

子どもたち一人一人の学ぶ意欲の向上を図るため、本年度から「体験型学習推進事業」に取り組んできました。そのまとめとして、1月に「瀬戸内市教育講演会」を実施しました。数学者の秋山仁氏をお招きし、300人近い参加がありました。市内の中学生を対象に体験型の授業をしていただき、その後、講演もしていただきました。参加者からは、「目から鱗が落ちるようでした」、「来てよかった」などの感想をいただきました。この事業は、平成26年度も拡充継続して行い、子どもたちの興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を向上させる授業づくりをさらに推進し

ていきたいと考えています。

## ○ ICT教育環境の整備について

学校教育において、今やICT（情報通信技術）は学習面、校務面の両面を支える要となっています。前回のICT教育環境整備から6年が経過し、平成26年度は、パソコン等の機器の大規模な更新時期を迎えます。現在、整備に向け、小中学校の代表の先生方、教育委員会担当で整備委員会を組織し、学校のICT教育環境の現状や教職員の意識やニーズの調査を複数回実施しています。この調査結果を今後の整備にしっかりと反映したいと考えています。

学習面では、教室にプロジェクターや実物投影機を整備し、タブレット型コンピュータを活用して、全ての先生が授業で、いつでも簡単に教材を拡大して児童・生徒に見せ、分かりやすい授業を展開できるようにします。

また、校務面では、校務支援システムを整備し、学校や児童生徒に関する様々な情報の電子化を支援します。これにより教職員間での情報共有や、業務の引き継ぎがしやすくなり、校務にかかる教職員の負担軽減や効率化につながります。

授業におけるICTの活用は、子どもたちの学習意欲を喚起し、学力の定着・向上に効果があります。さらに、校務支援システムは、教師の授業準備や児童生徒に接する時間を生み出し、きめ細やかな指導を可能にします。結果、教育活動の質の向上と学校経営の改善を図ることができます。現状の学力問題や生徒指導上の諸問題の改善策の一つとして、最新のICTを積極的に活用していきたいと考えています。

### ○ 学校力向上事業について

学校現場には学力向上等、様々な課題があります。これまでも教育委員会では、各学校への指導や関連する研修会の実施等で、その改善を図って来たところですが、学校それぞれの細かいニーズに十分に答えきれていないのが実情です。そこで各学校が実情に応じて先進校の視察や勉強会等を通じてそれぞれの課題解決を図り、校長が学校経営目標を達成することができるよう支援する「学校力向上事業」を来年度から新たに実施することとしています。

### ○ 学習支援学生ボランティア事業について

本年度から、教職を目指している学生に、授業中や放課後、長期休業中に学習の指導等をしてもらう「学習支援学生ボランティア事業」に取り組んでいます。これまでに、11人のボランティア登録があり、小学校6校、中学校2校で、延べ188回の活動が行われました。学校にとっては、きめ細やかな学習指導ができ、学生にとっても実践的な指導経験を積むことができると好評です。平成26年度も継続していきたいと考えています。

### ○ 牛窓西幼稚園の休園について

牛窓西幼稚園においては、新入園児の募集に対し入園希望が無く、在園児4人の内の1人が保育園への転園を希望したことから、平成26年度は園児が3人となる状況となりました。教育委員会としては、園児数が極端に少ない園では、集団生活の中で子ども同士が切磋琢磨する機会の減少、人間関係の固定化など教育の質の低下につながる懸念があると

考えています。

このことを踏まえ、在園児の保護者と協議を行った結果、3人揃って牛窓東幼稚園への転園を希望されたことから、先の教育委員会議で来年度から牛窓西幼稚園を休園とすることとしました。

#### ○ 学校支援地域本部事業について

2月15日に、百枘計算で有名な立命館大学教授 かげやまひでお 陰山英男氏を招いて、学校支援ボランティアと瀬戸内市合同地域教育協議会の合同研修会を実施しました。参加者からは、「とても参考になった」、「今後の学校支援に生かしたい」などの感想をいただきました。

学校支援地域本部事業については、これまでに市内の小中学校7校が実施しており、平成26年度には、裳掛小学校、牛窓東小学校、行幸小学校が事業を開始することとしています。さらに、平成27年度には、市内全ての小中学校で学校支援地域本部事業の取り組みが行われる予定です。

地域全体で学校を支える体制づくりを促進し、人との関わりの中で子ども達の豊かな人間性を涵養するとともに、地域教育力の活性化を図っていくため、この事業をさらに推進していきます。

#### ○ 新図書館整備について

新図書館整備については、平成25年11月までに「基本設計」を終え、12月の総務文教常任委員会においてご報告をさせていただいたところです。現在、本年3月末の完了を目途に「実施設計」を進めているところです。

新図書館整備計画地にありました邑久郷土資料館については、12月6日に解体工事を終え、現在は、埋蔵文化財の発掘調査を3月末の完了を目途に進めています。

#### ○ 牛窓まちなか防災協働訓練について

公民館では、文部科学省の「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」委託事業を活用した「牛窓まちなか防災協働訓練」を3月2日に牛窓地区及び牛窓町公民館で実施を計画しています。

訓練では、南海トラフを震源とした巨大地震の発生を想定し、防災拠点となる公民館が自治会や自主防災会と連携し、安否状況の確認や避難者の名簿作成等を行うことにより、防災意識の高揚を図るとともに、今後の地域防災体制の確立の一助にしたいと考えています。

#### ○ 備前長船刀剣博物館の取り組みについて

博物館では昨年12月26日から本年3月9日まで「刀剣王国・備前おかなの御刀」と題し、鎌倉時代から現代までの備前刀を、時代及び流派ごとに展覧し、日本一の日本刀生産王国である備前びぜん国、そこで作られた刀剣を紹介しています。

現在、黒田官兵衛を主人公とした大河ドラマも始まり、長船町福岡エリアへの観光客の増加とともに、博物館へも足を延ばす方も増えています。今後、こうした方々のために、黒田官兵衛と備前刀のかかわりに関するパネルを作成したり、さまざまな戦国武将たちと備前刀のエピソードを交えた「名将と日本刀の素敵な関係」と題した展覧会を3月13日から5月11日まで開催する予定としています。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、前年度に引き続き3階ギャラリーで「瀬戸内市児童絵画展」を平成25年11月17日から22日まで開催し、瀬戸内市内の小学校児童の優秀作品を展示しました。小学校と美術館が連携した良い展覧会となっているため、今後も継続事業としていく予定です。

また平成26年1月18日から2月23日まで開催した「佐竹徳展—瀬戸内市立美術館館蔵品展—」では、佐竹徳の絶筆となった未完成の作品を公開したほか、遺品整理の中で見つかった「ごいし」のスケッチも初公開しました。

3月には岡山出身の作家紹介として「久米<sup>きよこ</sup>小夜子回顧展」(3月1日～30日)を、平成26年度4月からは特別企画展「金澤翔子展—期間特別展示：建仁寺蔵<sup>けんにんじ</sup>《風神雷神》—」を開催予定です。

美術館は引き続き多彩な企画を提案し、芸術文化の魅力を教育・研究・展示など多面的な視点から伝え、地域における芸術文化振興の拠点となるよう取り組んでいきたいと思っております。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成26年2月24日

瀬戸内市教育委員会

教育長 藤原 一成